2022.3.19 新宿区自治フォーラム

「介護者(ケアラー)や高齢者の孤立をふせぐカフェ拠点づくり」

~地域で支援するNPOの取り組みから~



ケアするあなたの願いや 夢を一緒に叶えましょう

NPO法人 介護者サポートネットワーク センター・アラジン 牧野 史子





ケアラーズカフェ 2012~杉並区

はじめに

~今日のテーマに寄せて~

- ・2020年~
 - 孤独·孤立問題がクローズアップ。 内閣府に孤独·孤立担当室が設置される。
- ・2021年~関連する各分野のNPO等へヒアリング。
- ・2022年~プラットホームができる

イギリス政府(2018)「孤独担当相」を任命

「あまりに多くの人々にとって、孤独は現代の悲しい現実だ。高齢者・介護者そして愛する人を亡くした人たち一話す人がいない。考えや日々の出来事を共有する相手がいない人たち=が耐え忍ぶ孤独に向き合い、解決するためのアクションを取っていきたい。」

(テリーザ メイ首相の言葉)

自己紹介

*活動の源泉



- 1995年 阪神淡路大震災 (西宮市)の活動が原点
- ・2001年~東京にて介護者支援の NPO法人(アラジン)を立ち上げ "地域で孤立しがちな介護者を 社会へつなげるしくみづくり"を 長年試行
 - ・2012年日本で第1号の「ケアラーズカフェ」をスタート、 全国への波及をめざす。





介護で人生や仕事を <u>vɪs.</u> あきらめなくていい社会の実現へ

- 1. 地域で孤立しがちな介護者・高齢者を支援するしくみ_
- **MISSION**

- 2. 介護者をめぐる社会の命題と(システム)づくり
- 3. 介護者への社会保障制度の実現 ~アラジンHPより~

Research

調査・研究

居場所づくり

Education 教育·啓発

人づくり



ひとりではない、

介護者サロン

Support 支援

ネットワーク づくり



《社会的孤立と地域カフェ拠点の役割》

◆新宿区「ほっと安心カフェ」2011~2022~

- ◎ケアラーズカフェ(杉並区) 2012~
- ◎住み開きカフエ(杉並区) 2015~

~当日の住民の方の声~

- ・同じ階の人とまず会わない。話しをしない。一日中テレビを見て過ごす。
- ・以前住んでいた町に毎日のように出かけている。
 買い物や病院など新宿区のことがよくわからない。
- ・引っ越してきて間もなく亡くなっていた方がいた。 しばらく誰も気がつかなかった。
- ちょっと困ったとき。知り合いがいないので不便。わざわざ相談するまでもないのだけれど・4。



新宿区「ほっと安心カフェ」

スタート(2009~)の背景

- 1) 地域事情と行政課題・・ 新宿区では、65歳以上ひとり暮らし率が23区内 トップ30.4% (全国15.1% 東京都21.7%)
 - ・高齢者閉じこもり防止・見守り対策は、区でも 優先課題



オープン日の1コマ

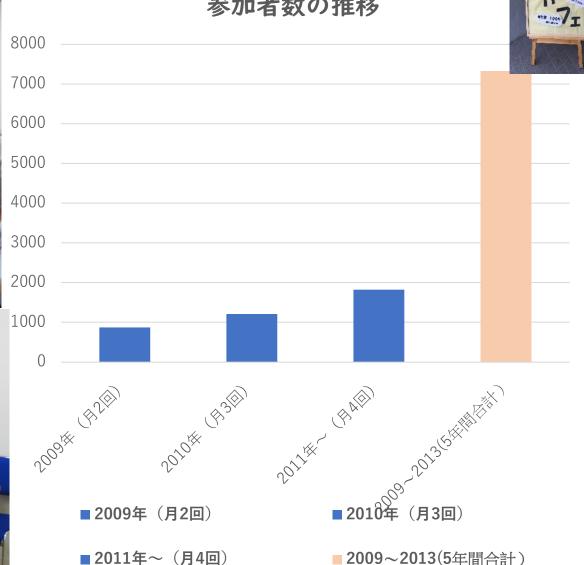
- ・高齢者の孤独死問題がこの地域を中心にマスコミで取り上げられる。 *厚労省「孤独死ゼロ・プロジェクト」発足 H18~
- 2)「新宿区とNPOとの協働事業」に採択 (H2 I ~22)
- 3)対象地域:JR新大久保~高田馬場駅間の大規模(2,300戸) 「都営百人町3丁目・4丁目アパート」全16棟
 - ・建て替えにより都内各地の都営から転居してきた高齢者多い。 (高齢化率 47.7%) | 1か所 →《3か所 月4回に》

「ほっと安心カフェ」の特徴

参加者数の推移

A 研修後のボラン ティアさんが運営 →自主グループ化

高齢者総合相談センター と連携・相談機能 →フラットに関わる



◆提言:地域共生社会 孤独·孤立対策

「安心基地としての拠点」

しくみの波及を!



C 訪問 (保健師+市民) 声かけ・送迎 安否確認



《拠点=カフェ+人材育成+アウトリーチ+ネットワーク》



災害 交流 居場 所 学び



